目次

第1章 浜松高等工業学校から浜松工業専門学校へ

第1節 浜松高等工業学校

1 浜松高等工業学校の開校	
関口初代校長の自由啓発主義	2
校友会とスポーツ奨励	4
校友会誌『佐鳴』と同窓会・同窓会誌	4
2 高柳健次郎のテレビジョン開発	
最初の「イ」の字が映るまで	4
テレビジョン実用化	5
Column 浜松高工時代のテレビ研究	6

第2節 戦時から戦後へ

1 浜松高等工業学校の発展	
日中戦争下の学校組織	7
太平洋戦争下の学校組織	9
財団法人浜松高等工業学校電子工学奨励会	9
2 第二次世界大戦下の浜松工業専門学校	
自由啓発の揺らぎ	10
太平洋戦争下の学校生活・勤労働員	11
3 戦後復興	
学校の復興とキャンパス移転	12
Column 校長時代の思い出	12
浜松高工の思い出	13
浜松工業大学と静岡大学工学部の間で	14
アルバム 学ぶ	16
校内	17
行事	17
遊ぶ	17
特集 戦時下の学び	18

第2章 静岡大学浜松キャンパスの成立

第1節 学部・研究所の整備

1 工学部の発足

大学昇格	24
初代学部長・講座編成	25
Column 浜松工業大学構想から静岡大学工学部設置へ	25

2 工学部の発展

精密工学科・化学工学科の増設と佐鳴会館の竣工	26
Column 精密工学科の学生時代	27
合成化学科設置・高柳記念館建設・工学研究科の発足	27
Column 1960年代のキャンパス	29

3 工業短期大学部

工業短期大学部の開設と4学科制への発展	29
Column 創立当時の思い出	29
工業短大開学のころ	30
環境の変化には逆らえない	30
情報工学科の増設	30
Column 閉学に想う	31
工短での思い出	31
工業短期大学部の閉学にあたって	32
工業短期大学部の思い出	32
短大生活で学んだこと	32
工短教官の研究	33
Column お互い、あの頃は若かった	34
工短棟の思い出	34

4 電子工学研究所

研究所の発足	34
Column 電子工学研究所の開設にあたって	34

第2節 研究・教育と学生生活

1 研究の特色

『工学部研究報告』の発刊	36
--------------	----

アルバム 機械工学科の各研究室	37
旺盛な研究活動と大学院設置への展開	38
アルバム 1955年アルバムより	39
2 浜松工業会	
浜松高等工業学校同窓会	40
浜松工業会の発足と本部・支部の事業活動	40
Column 『佐鳴』に関する随想	41
3 高度経済成長期のキャンパス	
高い入試倍率と入学者の分布	42
アルバム 発表会	42
Column 沼津高専から精密工学科へ	43
産業基盤の「重厚長大」から「軽薄短小」への転換期に	43
ユニークな教師と授業	44
アルバム 講義する教師たち	45
部活動を楽しむ	45
大学院への進学と修士修了就職者の増加	45
大学紛争の時代のなかで	46
アルバム 1966年卒業アルバムより	47
Column 渡辺先生と工学部	48
4 駅伝大会・学生寮	
駅伝大会	48
アルバム 駅伝大会の様子	49
Column クラス対抗駅伝の思い出	50
学生寮	50
Column 自啓寮の思い出	51
自啓寮1年目の思い出	51
アルバム 仮装行列	52
スポーツ祭	53
学生生活	54

第3章 大学教育改革の模索

第1節 1970年代

1	1970年代の教育	56
2	1970年代の学科・講座	
	機械工学科、機械工学第二学科	57
	精密工学科	58
	電気工学科、電気工学第二学科	58
	電子工学科	59
	情報工学科	59
	工業化学科	60
	合成化学科	60
	化学工学科	61
	共通講座	61
3	1970年代の学生生活	
	教養部時代	61
	浜松キャンパスへ	62
	アルバイト・サークル	62
	静大祭・夜間歩行	63
	卒業研究から大学院へ	63
	Column 沼津高専からの編入生だった学生時代	64
	駅伝大会	64
	特集 浜松キャンパスから出た学長 櫻場周吉先生	65
	温厚で優しかった櫻場先生	65
	絵描き三昧の工学部生を受け入れてくれた櫻場周吉先生	65

第2節 1980年代

1	1980年代の教育と研究	
	教育と研究のあり方に関する議論	66
	コンピュータ環境と教育	66
	研究室運営形態の変化	67
	研究開発で活躍する卒業生	67

2	1980年代の学科・講座	
	光電機械工学科の新設	68
	電気工学科、電気第二学科の改組	68
	機械系3学科の改組	68
	化学系3学科の改組	69
	電子系2学科、共通講座の改組	69
	情報工学科	70
3	1980年代の学生生活	
	大学入試共通一次世代	70
	静岡キャンパスでの学生生活	71
	浜松キャンパス専門課程	71
	アルバム 1980年代の工学部	72
	Column 駅伝大会	73
	学生時代を振り返って	73
4	博士課程大学院電子科学研究科の設置	
	設置の経緯	73
	その後の変遷	74
	電子科学研究科の廃止	74
	特集 浜松キャンパスと女性	75
	静岡大学工学部初の女性教官となって	75
	工学系女性教員数の推移を追う	76
	情報学部の女性教員の推移を追う	76

第4章 浜松キャンパスの大再編

第1節 四年一貫教育と情報学部を設置

- 1 教養部の廃止と四年一貫教育
工学部の四年一貫教育要求78
大学設置基準の大綱化78
教養部の改組と新学部構想78
教養教育の新体制と浜松キャンパス79
情報学部の整備と浜松の人文系教養教育体制80
教養教育の条件整備と経費問題80
- 2 文工融合型新学部の発足
工学部情報系からの情報学部設置判断81
情報社会学科に行き着くまで81
Column 文工融合を楽しむ82
工学と情報学との協働について83
- 3 キャンパス生活の変化
四年一貫教育実施による浜松キャンパスの環境の激変84
テクノフェスタ・静大祭85
Column 開放的空間としての浜松キャンパス86

第2節 大学再編のなかで

- 1 国立大学法人としての再出発
学部運営87
社会人教育87
実験実習プログラム87
若手教員の育成88
Showcase88
- 2 電子工学研究所の発展
21世紀 COE プログラム88
共同利用研究所への転換89
- 3 創造科学技術大学院設置
教員組織と教育組織を切り離した博士課程教育研究体制89

	教育研究活動の概要	90
4	工学部・電子工学研究所の改組	
	工学部・工学研究科改組の概要	90
	改組後の教育方針	91
	2015年の全学理系修士課程改組	91
	電子工学研究所の改組	91
	Column 2013年改組検討のエピソード	92
5	大学院総合科学技術研究科の設置	
	大学改革の一環としての新研究科の設置	92
	学際的教育と融合領域研究の推進体制	93
	大規模研究科運営の困難と教育上の工夫	93
	教育プログラムの柔軟な編成のための学術院設置	93
6	情報学部の改組	
	2学科3プログラム制の導入	94
	3プログラム制から3学科制への移行	94
7	イノベーション社会連携推進機構と大学発ベンチャー	95
8	静岡大学附属図書館浜松分館	97
9	浜松医科大学との教育連携	
	博士課程「光医工学共同専攻」の開設	98
	科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業	99
10	国際交流・留学生	
	国際学術交流	99
	アジアブリッジプログラム留学生受入れ	100
	留学生と地域との交流	102
11	学生寮	102
12	学生サークル	
	運動部	104
	公認文化系サークル	105
	ものづくり系サークル	105
	委員会	105

Column	ラグビーと駅伝	106
13	技術部	
	技官から技術職員へ	106
Column	電子工学研究所技官会の思い出	106
	現在の技術部について	107
14	浜松工業会の発展	
	高柳健次郎の顕彰	109
	情報学部・情報学研究科卒業生の加入	109
	記念同窓会・ホームカミングデーの実施	109
	浜松工業会会員の社会活動	110
	公益財団法人「浜松科学技術研究振興会」	111
Column	こぼれ話（在職当時の思い出）	112
15	教職員組合	
	浜松工業専門学校職員組合から静岡大学教職員組合へ	112
	静岡大学教職員組合	112
Column	復活させよう！教室職員専門委を	113
	守衛の二等級昇格実現	114
	教室系技術職員の待遇改善に関して学長との懇談会をもつ	114
	83春闘のたたかい方および組合に対する意見	114
	情報学部支部の誕生	115
Column	工学部支部定期大会報告	116
	法人化以降の教職員組合の活動	118
特集	浜松キャンパスから出た学長 伊東幸宏先生	119
	若造学長として	119
	伊東先生 ～学部長から学長へ～	119
	教え子から見た伊東先生	120

資 料

概要

1 静岡大学の理念と目標	122
2 運営組織	123
3 沿革	124
4 組織図	126

統計

5 浜松高等工業学校／浜松工業専門学校卒業生数年別推移	128
6 工学部学科別卒業生数年別推移	130
7 工業短期大学部卒業生数年別推移	132
8 情報学部卒業生数年別推移	133
9 工学部（夜間主コース）学科別卒業生数年別推移	133
10 専攻科／大学院修了生数年別推移	134

教員

11 歴代校長／学長／学部長／所長／主事・部長／館長・分館長	138
--	-----

駅伝大会

12 駅伝大会コースの推移	141
-----------------------	-----

年表

13 年表	145
---------------	-----

100周年広報

14 記念事業たより	150
--------------------	-----

凡例

- 頻出する用字・用語については、編集委員会で表記の統一を行った。
- 文中の年表記は西暦表示とした。ただし適宜、和暦表示を記載した。
- 「濱松」については全て「浜松」と表記した。よって「濱松高等工業学校」は「浜松高等工業学校」と表し、「濱松工業専門学校」は「浜松工業専門学校」と表した。
- 人名については、以下の通り表記した。
 - 「高柳健次郎」は異字体「高」及び「柳」を使用せず、「高柳健次郎」と表記した。
 - (高柳自身がこのような表記をしていたことと、他の記録・記念誌・書籍等との統一のため)
 - 「櫻場周吉」は「場」を使用せず、「櫻場周吉」と表記した(櫻場本人がこのような表記をしていたため)。
- 単位はカタカナ表記ではなく、単位記号を用いた。
- コラムの執筆者の肩書きは本誌のための書きおろしコラムについては現在の肩書きを付したが、他資料から転載したものは、一部を除き、基本的には掲載当時の肩書きとなっている。
- 写真等の出典については、「1966 アル」などと表記した。詳しい説明は巻末の資料一覧を参照されたい。

浜松キャンパスの変遷

	大1 正9 12 12	昭1 和9 14 94	昭1 和9 24 49	昭1 和9 25 61	平1 成9 9 75
浜松高等工業学校	創立				
浜松工業専門学校					
静岡大学工学部			4月		
静岡大学情報学部					10月

浜松高等工業学校・浜松工業専門学校・静岡大学卒業生の卒業年次・学科等記号

年次(数字)

※3月卒業以外の卒業も同じ年に含む

数字	卒業年	卒業学校名(卒業年)
0	1925(大正14)年卒業	浜松高等工業学校(0~18)
1~64	1926(大正15/昭和元)年~1989(平成元)年卒業	浜松工業専門学校(19~26) 静岡大学工学部(28~)
90~99	1990(平成2)年~1999(平成11)年卒業	静岡大学工業短期大学部(31~97)
2000~	2000(平成12)年卒業~	静岡大学情報学部(2000~) 静岡大学大学院(41~)

学科等記号

浜松高等工業学校、浜松工業専門学校	
記号	学科名等
M	機械学科、機械科
Ma	機械科(本科第一部機械科(第一)および同(第二))
Mb	機械科(本科第一部機械科(第一)、入学時航空機科)
Mc	機械科(入学時、本科第二部機械科)
Md	機械科(入学時、本科第二部機械科)
E	電気学科、本科第一部電気科
C	応用化学科、本科第一部化学工業科
F	精密機械学科、精密機械科
A	航空工学科、本科第一部航空機科、本科第二部航空機科
m	機械技術員養成科
N	通信工学科、電気通信科
Na	電気通信科(本科第一部電気通信科)
Nb	電気通信科(入学時、本科第二部電気通信科)
R	無線工学専修科、無線専修科
Y	臨時別科工業技術員養成科(電気通信科)
B	燃料化学科、燃料工学科、本科第一部燃料科
P	(臨時教員養成所)物理化学科、物象科
Σ	(臨時教員養成所)数学科

工学部	
記号	学科名等
M	機械工学科、機械工学第二学科
H	エネルギー機械工学科
F	精密工学科
Z	光電機械工学科
E	電気工学科、電気工学第二学科、電気・電子工学科、電気電子工学科
D	電子工学科、電子物質科学科
J	情報工学科、情報知識工学科、知能情報工学科
C	工業化学科、物質工学科
Q	応用化学科
U	材料精密化学科
K	化学工学科、化学バイオ工学科
S	合成化学科
A	システム工学科、数理システム工学科

工業短期大学部	
記号	学科名等
JM	機械科、機械工学科
JE	電気科、電気工学科
JD	電子工学科
JJ	情報工学科
JC	工業化学科

情報学部	
記号	学科名等
IC	情報科学科
IA	情報社会学科
IB	行動情報学科

大学院(工学研究科、理工学研究科前期、工学専攻)	
記号	学科名等
MM	機械工学専攻、機械工学第二専攻、機械工学コース
MH	エネルギー機械工学専攻
MF	精密工学専攻
MZ	光電機械工学専攻
ME	電気工学専攻、電気工学第二専攻、電気電子工学コース
MD	電子工学専攻、電子物質科学コース
MED	電気・電子工学専攻、電気電子工学専攻
MJ	情報工学専攻、情報知識工学専攻、計算機工学専攻
MC	工業化学専攻、物質工学専攻
MQ	応用化学専攻
MU	材料精密化学専攻
MK	化学工学専攻、化学バイオ工学コース
MS	合成化学専攻
MA	システム工学専攻、数理システム工学コース
MOT	事業開発マネジメント専攻・コース

大学院(情報学研究科、情報学専攻)	
記号	学科名等
MI	情報学専攻

大学院(博士課程)	
記号	学科名等
DD	電子科学研究科
DT	理工学研究科博士後期課程
DS	創造科学技術大学院
DM	光医学研究科